

若手パワーアップ塾 アンケート(第3回 河瀬航大先生)

2017/1/24 開催、出席者:若手 PU10 名、ゼネコン有志 7 名、公募枠 4 名、オブザーバー2 名 計 23 名、回答数 23:ダブルカウントあり

STEP1

[詳細を見る >](#)

第3回若手パワーアップ塾（1/24、河瀬航大氏）にご参加いただきまして、ありがとうございました。若手パワーアップ小委員会では、土木学会全体の品質向上のための制度作りを考えています。つきましては、アンケートにご協力いただきますよう、お願いします。

STEP2

[詳細を見る >](#)

1. 質問者の属性について1.1 所属先を教えてください。

1 建設業		13
2 建設コンサルタント		3
3 学校・学会		2
4 地方公共団体		2
5 その他		3

その他、製造業・その他の民間、官庁・独立行政法人 各 1

STEP3

[詳細を見る >](#)

1.2 年齢を教えてください。

1 30-34歳		8
2 35-39歳		7
3 40-44歳		4
4 25-29歳		2
5 その他		2

45-49 歳 1
55-59 歳 1

STEP4

[詳細を見る >](#)

2. 若手パワーアップ塾への参加について2.1 参加回数を教えてください。

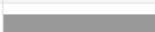
1 3回目		10
2 2回目		9
3 はじめて		3
4 1回目		1

すみません、はじめて=1 回目でした。

STEP5

[詳細を見る >](#)

2.2 若手パワーアップ塾への参加について教えてください。（複数選択可）

1 次回も積極的に参加したい。		16
2 次回の若手パワーアップ塾が楽しみである。		14
3 メンバーに会うのが楽しみである。		12
4 所属組織にフィードバックしたい。（今はしていない）		8
5 その他		7

- ・参加は業務の一環である。 3
- ・すでに所属組織にフィードバックしている。 1
- ・実はちょっと面倒臭い。 1
- ・組織の理解が得にくい。 1

STEP6

[詳細を見る >](#)

3. 講義について3.1 講義内容について教えてください。

av.
87

全く意味がなかった あまり意味がなかった どちらでもない 有意義だった 大変有意義だった

STEP7

[詳細を見る >](#)

3.2 講義で印象に残ったことを教えてください。（講義に参加していない方は「欠席」と回答してください。）

STEP8

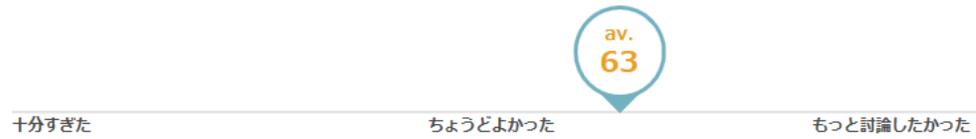
[詳細を見る >](#)

3.3 講義についての自由意見（任意）

STEP9

[詳細を見る >](#)

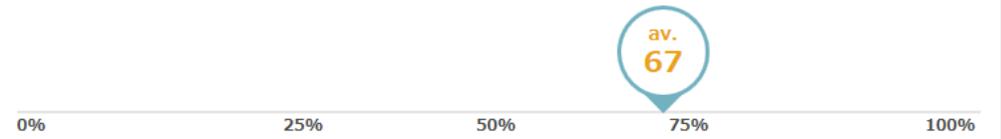
4. ディスカッションについて4.1 ディスカッション量について教えてください。



STEP10

[詳細を見る >](#)

4.2 ディスカッション時、自分の思ったことや考えをどの程度発言できていますか。



STEP11

[詳細を見る >](#)

4.3 ディスカッションに対する自由意見（任意）

STEP12

[詳細を見る >](#)

5.その他5.1 「土木技術者の視野を広げ、若手リーダーを養成する」勉強会として、勉強会全体に対する自由意見（任意）

STEP13

[詳細を見る >](#)

5.2 その他自由意見（任意）

STEP14

[詳細を見る >](#)

ご協力ありがとうございました！

講義で印象に残ったこと
熱意。建設業にあんな風に熱意を持って楽しそうに仕事をしている人が、果たしてどれだけのいるのだろうかと思った。
ものすごくシンプルな発想が莫大なビジネスに結びついていた点。
鍵を失くしたというちょっとしたきっかけから、現状の鍵がもつ問題点や不便なところを深く掘り下げて、イノベーションを見出したこと。問題点や課題を考えていくことで新たな発見をすることは、全ての分野に通じることだと改めて思った。
不便さを感じているところに、イノベーションの種があるということが印象的でした。
イノベーションへの姿勢、熱意が伝わった。
「熱」は若いうちしか発散できないパワーなので、納得しました。質疑応答と、ワークショップは参加していませんが、活発な意見交換がされたのではないかと想像しています。
・「めんどくさい」を追求するのが大事であること。・akerun試作品完成時のメンバーの喜び。・熱量を持った仲間を見つけるのが一番重要であること。
打込めることがあれば、周囲を巻き込んでいろいろなことができることがわかった。普段の業務の中にも、改善できることがたくさんあるだろうと思った。
イノベーションを起こすには「不便なものに気付く」ことが最も大事だという考え方
河瀬氏の発表資料データを可能な範囲で結構ですので いただければ幸いです。社内展開を目的としています
イノベーションの起こし方として、日頃の意識付けが重要と感じた。
ベンチャー企業の機動力。イノベーションに問題の発見と整理の能力が必要であることの再認識。
あけるんのアイデア。IOTビジネスの立ち上げエピソード
当たり前のことを疑問に思い、形にしたこと。開発が楽しそうだった。
鍵というひとつも物がインターネットとつながることで賃貸や貸しスペース、サテライトオフィスなど様々な分野に影響が波及していくことが非常に面白かった。
何かを新しく始めるためには、まずは仲間を探すことが大切ということ。
Akerunの開発経緯と、気付くことの大切さ
・イノベーションを生み出すには、熱量が必要とのこと。共感できる部分がありました。
アイデアとして優れた商品であるうえ、マーケットや商品の真の価値を徹底的に調べ上げていたことが印象的だった。データに基づき、次の問題点・課題を整理することが重要だと感じた。
問題に気付く意識がイノベーションにつながるという考え方
・フォトシンス河瀬社長のフットワークの良さ・IoTが注目される理由・イノベーションを起こすために、誰と組むか・問題意識を高める（気づきが必要）・キーワードは、『熱』
欠席
情熱をもって仕事に打ち込んでおられ、また情熱を共有する仲間がいることが鍵 基本的なことだが、改めて考えさせられた

講義についての自由意見（任意）
他業種の考え方に触れることの重要性和必要性について改めて考えさせられた。土木は他分野に比べてオープンで器の広い業界だと認識していたが、他業種の違う視点から見ると閉鎖的に見える面もあり、井の中の蛙であったようにも感じられた。
とても興味深い内容で、あっという間に時間が過ぎたという感じです。講義内容にもよりますが、講義をパーツパーツで区切って、途中で聴講側の意見を求めるようなスタイルも良いと思います。
具体的なツールを使っの講義が説得力がある。真似してみよう。
なにより、パワーがある人の話は説得力がありました。
・非常に面白く、引き込まれました。
自分よりもはるかに若い方が、目的をはっきりと持って起業されていることにまず驚きました。起業して事業を成功させるまでの行動、手段をご教示頂き、大変勉強になりました
早速アポを取ってみようと思いました
ベンチャー企業のアプローチを土木業界にどう取り入れていけばよいか、までは議論できなかったが、問題意識をもつきっかけを頂けた。
IOTが非常に身近になった。講義を聞いてから何をすることもIOTに繋がらないか考えるようになった。
Akerunの実演もあってよかった。
異業種の方の講演は普段耳にすることの無い内容が多いので、非常に興味深く、面白かった。
他業種ではあるが、今までのポジションを捨て、誰もやったことのない事業に果敢にチャレンジされていることに刺激を受けた。
皆んなの意見が出やすい、活性化しやすい方法を考える必要がある。
・異分野のお話を聞くことができ、たいへん刺激的でした。・講師の方にも土木分野を知っていただくきっかけになればと思いました。
建設業で、作業の歩掛調査や機械の稼働データ、作業員の勤怠管理に応用できればと思えた。
・問題意識を高め⇒熱量を高め⇒解決する事が大事。・革新的な技術があっても、河瀬社長の様にそれぞれの得意分野を持っている方々と上手く手を組む事が大事。・不得意なところを誰と組むか。仲間作りが大切（人脈構築）
各支部ごとで開催されてはどうか。
時間、内容ともに大変良いと思います。

ディスカッションに対する自由意見（任意）
3、4人程度の少人数でやる方が意見を収集しやすく、一人ひとりの考え方がわかってよかった。
今回のディスカッションは、テーマが大きかったので、出てくる意見も色々な角度・範囲のものがああり、限られた時間のなかではまともな感じに感じる。
ディスカッションのテーマをもう少し絞った方が、より深い議論ができるような気がします。
参加していません。
・まだ遠慮しているなどという印象がある。 ・「熱屋」が異なる??
自分とは視点の異なる意見や現状の業界に対する共通意見をいろいろと聞くことができ良かったです。
いろいろな性格の方がいらっしゃり非常におもしろい
とくになし
講演者に質問を投げかけるのは良いと思う。
テーマ例があったので、前回よりも話がしやすかった。
討論題目もある程度決まっています、討論しやすかったと思う。
皆んなの意見が出やすいディスカッション方式を考える必要がある。
・議論の内容が幅広く、また時間が足りず、上手く焦点をしばってまとめることができませんでした。 ・ディスカッションをまとめるスキルももっと身につけたいと感じました。
討議するスコープをもう少し絞った方が議論しやすいかと思います。
グループディスカッションもためにはなりますが、講師の方との結びつきにはあまりつながっていないような気がします。初回のように直接講師へ質問をぶつけるやり方もありではないかと思います。
・3～4人（少人数）でのディスカッションが良いと思う。 ・考える時間及びグループ内で討議する時間が、短いと思う。
ディスカッションには若手だけでなく中堅、熟練の方にも参加いただいてもいいのではないかと。
なかなか抽象的なテーマですので、懇親会（飲みながら）とセットの方が意見が出やすい（発言しやすい）と考えました。

その他自由意見（任意）
合宿形式の勉強会を希望します。懇親会については毎回開催を希望します。
職場の若い職員には朝礼等で報告しています。福岡でもあるといいですね。
今後も積極的に参加させていただきます。
とくになし
若手塾はゼネコンの方が大半のような気がするが、メンバーをもっと色々な職種から集められないか。
ある程度の期限（勉強会参加期間）を設ける必要があると思う。
・3ヶ月に1回ぐらいのペースが良い。・親睦会は、結局、仲の良い者同士、席に着くので 以前も提案しましたが、くじか何かで席を決めるのが良いかと。
特にはありません。